

令和6年毒物劇物取扱者試験問題
法 規(選択式問題)

- 1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい語句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号1から5の解答欄にマークしなさい。

第三条の三 興奮、(問題1)又は(問題2)の作用を有する毒物又は劇物(これらを含む。)であつて政令で定めるものは、(問題3)に摂取し、若しくは(問題4)し、又はこれらの目的で(問題5)してはならない。

【下欄】

1 自由	2 所持	3 幻覚	4 みだり	5 麻酔
6 覚せい	7 使用	8 幻聴	9 吸入	0 売買

- 2 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい語句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号6から 10 の解答欄にマークしなさい。

第十一条 略

2 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物若しくは劇物又は毒物若しくは劇物を含有する物であつて政令で定めるものがその製造所、営業所若しくは店舗又は研究所の外に(問題6)し、(問題7)、(問題8)、若しくは(問題9)、又はこれらの施設の地下に(問題 10)ことを防ぐのに必要な措置を講じなければならない。

【下欄】

1 盗難	2 しみ込む	3 飛散	4 流れ出	5 漏れ
6 拡散	7 運搬	8 放出	9 しみ出	0 紛失

3 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。()に当てはまる正しい字句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 11 から 15 の解答欄にマークしなさい。

第十二条 毒物劇物営業者及び特定毒物研究者は、毒物又は劇物の容器及び被包に、「(問題 11)」の文字及び毒物については(問題 12)をもつて「毒物」の文字、劇物については(問題 13)をもつて「劇物」の文字を表示しなければならない。

2 毒物劇物営業者は、その容器及び被包に、左に掲げる事項を表示しなければ、毒物又は劇物を販売し、又は授与してはならない。

一 毒物又は劇物の名称

二 毒物又は劇物の成分及びその(問題 14)

三 厚生労働省令で定める毒物又は劇物については、それぞれ厚生労働省令で定めるその(問題 15)の名称

【下欄】

(問題 11)	1 医薬用外	2 毒物劇物用	3 指定物	4 医薬品
(問題 12)	1 赤地に白色	2 白地に赤色	3 黒地に白色	4 白地に黒色
(問題 13)	1 白地に赤色	2 赤地に白色	3 白地に黒色	4 黒地に白色
(問題 14)	1 重量	2 重さ	3 質量	4 含量
(問題 15)	1 解毒剤	2 類縁物質	3 治療薬	4 官能基

4 次の文章で正しいものには[1]を、誤っているものには[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 16 から 25 の解答欄にマークしなさい。

- (問題 16) 毒物劇物営業者は、その営業の登録が効力を失ったときには、30 日以内に、その店舗の所在地の都道府県知事に、現に所有する特定毒物の品名及び数量を届け出なければならない。
- (問題 17) 互いに隣接している毒物劇物製造業の製造所と毒物劇物販売業の店舗を同じ営業者が併せて営む場合は、毒物劇物取扱責任者を兼務することができる。
- (問題 18) 製造業又は輸入業の登録は、6年ごとに、販売業の登録は、5年ごとに、更新を受けなければ、その効力を失う。
- (問題 19) 毒物劇物製造業者が、その製造した毒物又は劇物を、他の毒物劇物販売業者に販売する場合、毒物劇物販売業の登録を受けなければならない。
- (問題 20) 毒物劇物営業者が個人経営から法人経営になる場合には、新たに登録を受けなければならない。
- (問題 21) 製造業者から委託され、2,000 リットル容器に入った 40%硫酸水溶液を大型自動車に積載し運送を行う場合、その運送を請負う者は、事業場ごとに業務上取扱者として届け出なければならない。
- (問題 22) 愛媛県で実施された毒物劇物取扱者試験で合格すれば、愛媛県以外でも毒物劇物取扱責任者となることができる。
- (問題 23) 毒物劇物販売業者は、毒物又は劇物を直接に取扱わない場合は、店舗ごとに毒物劇物取扱責任者を置く必要はない。
- (問題 24) 一般毒物劇物取扱者試験に合格しても、農業用品目を販売する店舗の毒物劇物取扱責任者になることはできない。
- (問題 25) 18 歳未満でも毒物劇物取扱者試験に合格すれば、毒物劇物取扱責任者となることができる。

令和6年毒物劇物取扱者試験問題
法規(記述式問題)

- 1 次の文章は、毒物及び劇物取締法の条文の一部である。正しい語句を法規・基礎化学試験用紙の記述問題番号1から10の解答欄に記入しなさい。

第十四条 毒物劇物営業者は、毒物又は劇物を他の毒物劇物営業者に販売し、又は(問題1)したときは、その都度、次に掲げる事項を書面に記載しておかなければならない。

一 毒物又は劇物の(問題2)及び(問題3)

二 販売又は(問題1)の(問題4)

三 譲受人の(問題5)、(問題6)及び(問題7)(法人にあつては、その名称及び主たる事務所の(問題8))

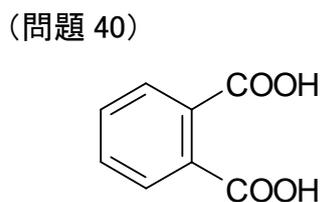
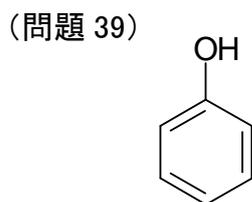
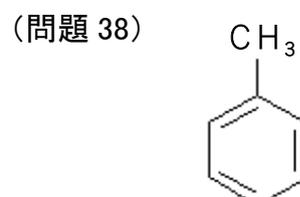
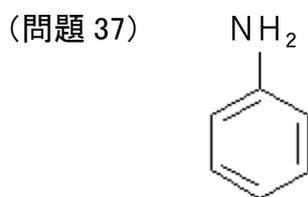
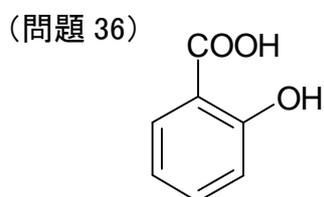
- 2 毒物劇物営業者は、(問題9)から前項各号に掲げる事項を記載し、(問題10)で定めるところにより作成した書面の提出を受けなければ、毒物又は劇物を毒物劇物営業者以外の者に販売し、又は(問題1)してはならない。

令和6年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(選択式問題)

1 次の物質について、水溶液が酸性を示すものには[1]を、中性を示すものには[2]を、塩基性を示すものには[3]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 26 から 35の解答欄にマークしなさい。

(問題 26)	炭酸水素ナトリウム	(問題 27)	酢酸ナトリウム
(問題 28)	クエン酸ナトリウム	(問題 29)	リン酸水素二ナトリウム
(問題 30)	硫酸アンモニウム	(問題 31)	硫酸ナトリウム
(問題 32)	硝酸カリウム	(問題 33)	硫酸銅(Ⅱ)
(問題 34)	塩化水素	(問題 35)	塩化アンモニウム

2 次の芳香族化合物の名称を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 36 から 40の解答欄にマークしなさい。



【下欄】

1	ナフタレン	2	サリチル酸	3	トルエン	4	アニリン
5	ベンゼン	6	フタル酸	7	ベンズアルデヒド	8	ニトロベンゼン
9	安息香酸	0	フェノール				

3 次の()内に当てはまる最も適当な語句を下欄から選び、その番号を法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 41 から 45の解答欄にマークしなさい。

原子と原子が価電子(不対電子)を共有してできる結合を(問題 41)、非共有電子対を使った(問題 41)を(問題 42)という。

酸素原子と水素原子は両者の(問題 43)の差が大きいため、水分子の中で、酸素原子はいくぶん(問題 44)の電荷を帯びている。液体の水では、水分子中の酸素原子と、ほかの水分子の水素原子が互いに静電気で引きあっており、この結合を(問題 45)という。

【下欄】

1 配位結合	2 イオン結合	3 イオン化エネルギー	4 正
5 負	6 電気陰性度	7 ファンデルワールス力	
8 金属結合	9 水素結合	0 共有結合	

4 次の記述について、正しいものは[1]を、誤っているものは[2]を、法規・基礎化学試験用紙の選択問題番号 46 から 50の解答欄にマークしなさい。

(問題 46) シャルルの法則とは、一定の温度の下での気体の体積が圧力に反比例する法則のことである。

(問題 47) アルカリ金属は原子番号が大きくなるほど原子半径も大きい。

(問題 48) 物質のうち、空気のように2種類以上の物質が混じり合ったものを混合物という。

(問題 49) 酸素とオゾンのように、同じ元素からなる単体で、性質の異なる物質を同位体という。

(問題 50) 界面活性剤は、著しく水の表面張力を大きくする作用をもつ。

令和6年毒物劇物取扱者試験問題
基礎化学(記述式問題)

1 次の問題について、()内にあてはまる数値を、法規・基礎化学試験用紙の記述問題番号 11 から 15 の解答欄に記入しなさい。ただし、原子量は、水素を1、炭素を12、酸素を16、ナトリウム23、塩素を35.5、硫黄を32とする。

- (1) 標準状態で 16.8L のエチレン(C_2H_4)を空気中で完全燃焼させたところ、二酸化炭素が(問題 11)g 生成した。
- (2) 2.5mol/L の硫酸1L を中和するには、2mol/L の水酸化ナトリウム水溶液(問題 12)L が必要である。
- (3) 水(問題 13)g に塩化ナトリウムを 20g 溶かすと、濃度が 12.5%の塩化ナトリウム水溶液となる。
- (4) 40w/v%硫酸水溶液(問題 14)mL と 60w/v%硫酸水溶液(問題 15)mL を混合すると、47w/v%硫酸水溶液 1,000 mL になる。